

令和4度 ル・ソラリオン葛飾 事業計画書

1. 施設理念

ル・ソラリオン葛飾は、葛飾に根ざした高齢者福祉施設として日常生活において介護を必要とする高齢者が、地域の中で自分らしく生きる家として専門性の高い個別ケアに基づく入所サービスならびに在宅サービスを提供する。

2. 施設方針・テーマ

『地域のなかで高齢者が生き生きと住み続けられる家（「陽の当たる場所」）として、ご家族とともに愛のあるケアを提供していく。』ケアの提供にあたって、職員は丁寧に考え、誠実に対応する。

◆個別ケア

全室個室のユニットケアの特徴を生かして、日常生活の中で、利用者の意思・人権を最大限尊重し、利用者が個々の生活リズムに合わせて、その人らしい生活を送れるよう良質な個別ケアを提供し支援する。

◆チームケア

他の人に対する思いやりと深い知恵を兼ね備えた介護、医療、リハビリ、栄養、相談、事務すべての職種の職員が専門家として各々の専門性を発揮しつつ、家族とも協力し全体でひとつのチームとして利用者の介護を行うという認識を持ってチームケアを提供する。

◆安全・安心

きめ細かい健康管理を実施し、安心できる医療体制のもと、自分らしい生活をおくって頂ける様支援をする。リスクマネジメントを徹底させ事故のない安全で、安心な施設を目指す。

◆経営の安定・透明性と賢い職場環境

適切な稼働率管理を行い ISO9001 定着による業務の標準化及び継続的改善を進め、経営の安定化を図るとともに、第三者評価の受審、結果公表を通じて経営の透明性を確保する。また、経営を安定させるとともに、職員の心が安定して誇りを持って仕事に取り組む環境を整備し、良いサービスを提供する。

介護人材不足に対応するため、介護留学生を受け入れ、サービスの向上を図る。

◆地域連携

葛飾に根ざした施設として、地域社会との関係を深めボランティアなど地域の人的資源を受け入れるとともに地域に貢献できる施設を目指す。

3. 実施事業及び定員

(1) 介護老人福祉施設	定員 140名
(2) ショートステイ	定員 20名
(3) ケアハウス	定員 20名
(4) 認知症対応型デイサービス	定員 12名
(5) 居宅介護支援事業	定員 35名

4. 重点事項

抱負・目標

アメリカの詩人サミュエル・ウルマンの「青春」という詩に「人は歳を重ねても老いることはない。理想を失ったときに老いる。」という一説がある。敬仁会の職員は理想をもった集団であり、以下の実現に全力を傾注する。

施設経営の更なる安定化を目指すと共に、“ユニットケアによる個別ケアの提供を行う施設である”という開設の原点を忘れず、今まで培った基本的な介護サービスを提供する能力の基盤の上で利用者の生活の質（QOL）の向上をめざす。

また ISO9001 を施設運営のバックボーンとして定着させ、サービスの質を維持すると、ともに、より良いサービスを目指して常に改善を行う。

「人生をゆっくり楽しもう」という「スローライフ」の考え方を理解し、利用者のことを丁寧に考え、誠実に対応することを心がける。

メリハリのあるサービスを提供できる「技量の質」、利用者に対する「思いやりと深い知恵」を兼ね備えた職員を育成し、賢い職場環境を構築する。

敬仁会のもつ、優しさ、勤勉さ、思いやりの心を伝承しつつ、ユニークな考え、チャレンジする発想、周りの目を恐れない孤高の精神をもつ職員を育成するための組織風土を構築する。

介護職員の人材確保と職員の定着率の向上を図り、職員の定着増を果たすことによって利用者に、より満足のいただけるサービスを提供する。

人口減少、少子高齢化の流れが急速に進み介護部門でも、構造転換が余儀なくされている。「進取の気性をもって、変わることを恐れない」を合言葉に、変化に対応していく。

また、働き方改革の理念「ワークライフバランスと生産性の向上が共に達成されること」を踏まえて、全職員が生き生きと働き続けられる職場づくりを推進する。

コロナ禍にあっても、利用者のために創意工夫をし、サービスの向上に努める。

LIFE へのデータ提出を推進させ、科学的に裏付けられた介護の実現を目指し、サービスの向上を図る。

感染を施設に持ち込まない、利用者の安心・安全の確保に努める。

コロナ禍にあっても、利用者のために創意工夫をし、サービスの向上に努める。

困難な時代だからこそ、不撓不屈の精神をもって、挑戦のキーワードを胸に職員が一丸なって前進していく。

(1) 人事育成と職場定着

① 職員の定着率・能力の向上を図る。

- ・ 離職者を定数の10%以内にする。
- ・ 働きやすい職場環境づくりを図る。
- ・ 仕事と家庭の両立させる組織風土を確立する。
- ・ 研修による知識・技術の習得を通じ専門職としてのレベルアップを図る。

- ② 外国人労働者を活用する。
 - ・インドネシア介護留学生の育成及び戦力化を図る。
 - ・介護福祉士養成校との連携強化・実習先との連携強化を図る。
- ③ 介護ロボットを活用し、職場の魅力を高め優秀な職員の確保を図る。
 - ・介護者の負担を軽減する次世代介護機器を活用する。
 - ・利用者の生活リズムを把握しながら、データ分析が可能な先進の見守り支援システムを活用し、様々な介護事故防止に取り組める作業環境をつくる。
 - ・ウェアラブルデバイスを利用した根拠に基づく個別支援計画を作成し、ケアの質向上の意識を高める。

(2) 利用者へのサービス提供(顧客満足・質の向上)

- ① サービスの質の向上を図り、利用者の顧客満足の向上を図る。
 - ・ユニットケアに基づくより良い個別ケアを実施する。
 - ・利用者個々のレベルに合わせたレクリエーション・行事を提供する。
 - ・利用者が心穏やかに毎日を過ごす事が出来る認知症ケアの充実を図る。
 - ・身体拘束廃止を目指した取り組みを定着させ、身体拘束件数のゼロを継続する。
 - ・ターミナルケアの充実を図る。
 - ・利用者が苦痛なく心穏やかに施設内で最期を迎えることが出来るようターミナルケアの充実を図る。
- ② サービスの点検をし改善を図る。
 - ・ISO9001の定着および継続的改善を通じ、サービスの向上を図る。
 - ・外部評価受審によるサービスの質の向上を図る。
- ③ LIFE(科学的介護支援システム)への取り組みにより、エビデンスのあるサービスを提供する。
 - ・データの提出とフィードバックの活用によって、PDCAサイクルの推進とケアの質的向上を図る。

(3) リスク対策(感染・安全・災害等) 充実させる。

- ① 管理(防災、事故防止、感染防止)の徹底を図り、感染症の発生・蔓延等を防止する。
- ② 大規模災害時に於ける事業継続可能な体制の構築を図る。
 - ・非常食、防災備品を適正に管理し防災訓練を実施し職員の意識・経験値を高め災害に備える。
- ③ 転倒による介護事故の防止を図り、レベル3の事故を減少させる。

(4) 施設・施設整備

- ① 大規模災害時に於ける事業継続可能な体制の構築を図る。
- ② 非常食、防災備品を適正に管理し防災訓練を実施し職員の意識・経験値を高め災害に備える。
- ③ 建物の経年劣化に対処すると共に利用者に提供するサービスの質の向上に資する設備整備を実施する。

(5) 地域連携・社会貢献

- ① 介護教室「ソラ葛安心介護塾」の発展的継続を図る。
- ② 地域自治体および中青戸町内会との防災協定締に基づきより連携を図る。
- ③ 葛飾区ボランティアセンターとの連携を強め、更に地域ボランティアを充実させる。

(6) 経営管理

◆ 目標稼働率の達成。

目標利用者数（稼働率）

・介護老人福祉施設	135.0名 (96.4%)
・ショートステイ	10.0名 (50.0%)
・ケアハウス	19.7名 (98.5%)
・認知症対応型デイサービス	7.0名 (58.3%)
・居宅介護支援事業	33.2名 (94.9%)

◆ ① 合理化・効率化と経費の削減を図る。

② 事業ごとに現状および課題の把握を行い適切な事業運営を目指す。

③ 職員は自らが関る事業の収入・支出の現状を認識し稼働率向上や経費節約の為の工夫を実践する。

5. 新規事業

なし。

6. その他

なし。